

「空バンの清掃・洗浄は海コンドライバーの仕事ではありません！」



返却空コンテナの清掃・洗浄問題の改善にむけて

～行政、労働組合、運送事業者、海貨事業者などが合意～

返却空コンテナの清掃・洗浄について、名古屋港では責任を負う立場にないドライバーが担っているケースが多く（東西港にはない）過度の負担となっていることから、中部運輸局主催の「勉強会」を7回にわたる調査と検討を続けて下記、①～④の改善に取り組むことになりました。

- ①：清掃・洗浄の際、体調不良の経験があるドライバーは6割弱に上る。
- ②：危険物・有害物の適切な洗浄方法の伝達と洗浄コストの負担について荷主への理解と協力をもとめる。
- ③：過洗浄問題においては、ひきつづき「勉強会」で継続した検討を行う。
- ④：危険物・有害物の空コンテナ清掃・洗浄は行わない、垂れ流しはダメ！
浄化設備のある場所で、専属の作業員が洗いを行うこととする。

『全国港湾労働組合連合会は2014年1月23日、名古屋港運協会と懇談会を開催し、下記の確認をしました↓』

港頭地域における、海上コンテナのドアの開閉、シール切り、出バン後の清掃は港湾労働者の作業・職域である、海コンドライバーには行わせないよう要請します。

<ウラ面、国土交通省・中部運輸局発出文書を参照ください>



返却空コンテナの
清掃・洗浄問題等、お困りのことは連絡をください。
全日本港湾労働組合 名古屋支部
お問い合わせ：(052)652-1421

他港では、海コンドライバーによる水洗いは行っていないことをご存知ですか？